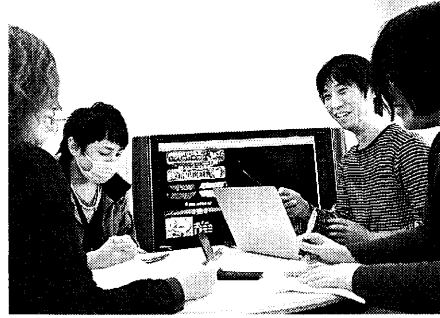
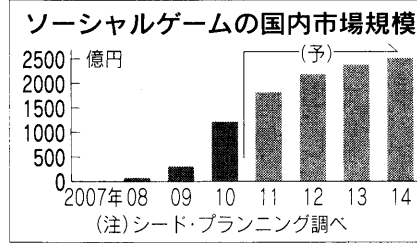


ソーシャルゲーム開発



大手のソーシャルゲーム開発会社は地方に拠点を設け、技術者確保を急ぐ(gumiが開設した福岡市の拠点)

ルゲームを開発するベンチャー企業が相次いで地方に拠点を新設する。ソーシャルゲーム市場は2014年に10年比で倍増の約2500億円まで拡大する見通し。急成長に伴って、首都圏での技術者確保が難しくなっているためだ。ゲーム開発の東京一極集中に変化をもたらしている。



巨大な市場を、このほど福岡市に開発拠点を新設、12年4月末までに最低40人の技術者を採用する。東京以外で築く初の拠点で、ゲームのプログラマーの確保を狙う。現在約130人の社員を、12年4月末までに2000〜2500人に増やす。KLabは今夏から大阪と福岡での勤務を希望する技術者の採用を本格的に開始、これまでに合計で約10人を採用した。クルーズは年明けにも地方都市に拠点を新設する方針。現在約100人の

者を新たに雇用する。ソーシャルゲームでは、首都圏での人材確保が難しい中で、各社が注目しているのが地方の中核都市だ。クルーズの対馬慶祐は「地元に住みながら、開発・発売スピードがも

る。急拡大に伴い技術者の新規求人数は10年1月時点に比べ、3・6倍に膨らんだ。「完全な売り手市場」(インテリジェンス)という。このためソーシャルゲ

ーム大手のDeNA夏から、中途採用の者に「入社準備金」で200万円を支給などの人材獲得策をしている。「技術者のためM&A(合併収)も進めたい」(oopsの梶原社長の声も上がる。家庭用ゲーム機市

米調査会社から日本市場参入 先端技術専門社、米ラックスリサ社、マサチューセッツが日本市場に参入する日本支社を設立し、年内に日本語のウェブサイトも開設する。エネルギーやバイオテクノロジーノロジーを新素材などの先端技術について、主に大

放射線と気象同時測定

農地向け 雨・風の影響確認

計測システム開発のイラボ・エクスぺリエンス(東京都稲城市、桜井良雄社長)は気象データと放射線量を同時に測るシステムを開発した。来年2月中旬から量産する。雨や風向による放射線量の変化を測って、除染などの対策につなげる。東京電力福島第1原子力発電所で放出された放射性物質の影響を受け、業を進めている。計測器

イラボ・エクスぺリエンス

気象データ測定システムを作っており、NECや富士通、NTT系企業など向けにOEM(相手先ブランドによる生産)もしている。これまでに実験用の施設を含めて270台の設置実績がある。

LEDの光で害虫封じ

農業関連機器のネイブル(長野県小諸市、田中正彦社長)は、電照菊の栽培向けに防虫効果のある発光ダイオード(LED)電球を開発した。害虫の動きを抑制する独自の明るい黄色の光を発する。消費電力の抑制と防虫対策が1個の電球でできる。年間1万個の販売を目指す。

電照菊栽培向け

LEDが発する光の波長を制御することで、夜間に菊に卵を産み付けるなどの害虫の動きを抑制する。LEDは豊田合成や長野県と開発し特許を取得した。電照菊の栽培にも利用できる光であることを実証した。菊を成長させるため、夜間に照明が必要な際は50%

ネイブル、節電と両立

程度明るさで照らす。照らさないと害虫が寄ってくるため、2%程度の弱い光を放つ仕組み。これまでは電照用と防虫で別々の対策が必要だったという。LED電球は1個6000円程度で年内に受注を始める。電球は1灯の畑で1500個程度使うが、害虫被害が3分の1程度に抑えられた実証データもあり、初期投資を6年程度で回収できる見込みという。

就活、無料アプリで支援

エスキュービズム 採用ナイト卒里

1人あたり平均100社とされるエントリー企業の採用サイトを一括で管理したり、これまでに

企業が自社の採用活動についてのメッセージを